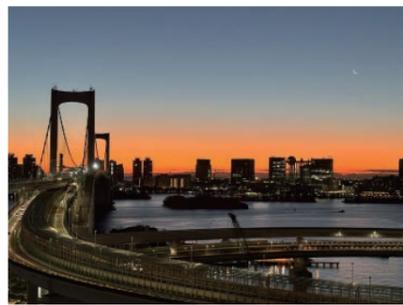


芝浦港南地区の人、暮らしを伝える、とっておきの作品をお送りください。
写真のほかに、俳句や川柳、イラストでも応募できます！
読者の皆さんで「べいあっぷ」を盛り上げてください。力作お待ちしております！



ハッピーブックさんの作品 『冬暁の虹橋』



ふーチャンさんの作品
『水面に映るレインボー』

今号では、いろんな表情を見せる
レインボーブリッジが集まりました！！



ゆきえもんさんの作品
『赤光のレール、夜を翔ける』



華音さんの作品 『朝もやの車窓から』



北原和裕さんの作品 『静寂』



からちゃんさんの作品
『レインボーブリッジ 虹色ライトアップ』



ゆきこさんの作品
『お台場海浜公園での散歩にて』



港南MOGA子さんの作品
『朝のお散歩』

応募方法

次号は7月下旬発行予定です。芝浦港南地区の作品にタイトルを添えて、住所・氏名・電話番号・作品の返却希望の有無・ペンネーム(希望者)を明記の上、べいあっぷ編集部までお送りください。写真はデータでもプリントでもOK。携帯写真でも大歓迎です。人物が写っているときは、その人の許諾を取った後にご応募ください。

作品の送付先

〒105-8516 ※郵便番号だけで届きます
港区芝浦港南地区総合支所 べいあっぷ編集部
TEL : 03-6400-0031 FAX : 03-5445-4590
E-mail : sk-kuminokoe@city.minato.tokyo.jp



※応募いただいた作品については港区の事業で無償で使用させていただくことがあります。

次回の締切は 4月7日(火) 必着です。

べいあっぷ編集部では全員がボランティアで参加する区民編集委員と芝浦港南地区総合支所のスタッフが協働して、企画・編集しています。より良い誌面を作るため、地域の皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております(送り先は下記へ)。

港区芝浦港南地区総合支所 べいあっぷ編集部
〒105-8516 港区芝浦 1-16-1
TEL : 03-6400-0031 FAX : 03-5445-4590
E-mail : sk-kuminokoe@city.minato.tokyo.jp

※この情報紙にお寄せいただいた住所・氏名・電話番号などの個人情報は、作品の返送および事務連絡に利用します。また、取扱いについては個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に管理します。

編集後記

二季という言葉が聞かれ、短くなったといわれる春ですが、気配を感じる、わくわくしますね。私はまだ花粉症ではないからでしょうか。今年度も無事にべいあっぷを3回発行することができました。令和8(2026)年度はべいあっぷも発行20年を迎えます。まだ紹介されていない地域のイベントやスポットはたくさんあるので、芝浦港南地区の情報誌として、これからも地域に根差した役に立つ楽しい情報をお届けできるよう、編集部一同、知恵を絞ってお届けしていけたらと思います。読者の皆さまもいつもと違う道を通って、まちの魅力を探してみませんか。建設中の建物もたくさんあり、これからこの地域がどう変わるのか楽しみです。今号もお読みいただき、ありがとうございました。 大橋 直

べいあっぷ編集部

大橋 直/岡田 美紀子/小丸 典子/近藤 穂佳
佐藤 啓/志水 俊子/須古 邦子/塚本 みか
林 淳一/林 哲平/廣田 幸子/堀部 菜優
室谷 奈央/山口 ゆかり/山根 里奈
横山 仁/MESLER JONATHAN



本誌のバックナンバーは港区ホームページで閲覧することができます。



暮らしの疑問、まとめて「みなとコール」でお答えします。

午前8時～午後8時
FAX : 03-5777-8752

みなとコール
03-5472-3710

本誌は環境に配慮して「のり」としています。
発行番号 2025106-2435

べいあっぷ

第74号

令和8(2026)年3月

人と人、町と町をつなぐ 一ふれあい情報誌



連載 べいあっぷ編集委員がおすすめする 地域のスポット 第31回 ……2
大人向けSKDs未来の担い手育成プロジェクト講座(レポート) ……4
お台場30周年 江戸の防衛拠点から地域の防災拠点へ ……6
東京都からのお知らせ/港区からのお知らせ ……7
総合支所だより ……8
連載 編集委員が選んだ おすすめグルメスポット VOL.5 ……10
港区ベイエリア イベントカレンダー/都税のお知らせ ……11
読者ギャラリー・編集後記 ……12

べいあつ編集委員が
おすすめする

地域の スポット

連載◆第31回

TAKANAWA GATEWAY CITY 新しいまちが誕生しています

高輪ゲートウェイ駅を中心としたエリアは、かつては江戸の玄関口、明治期には日本で初めて鉄道が走ったイノベーションの地として、記憶に残っています。現在、このエリアでは、新たなビジネス・文化が生まれ続ける国際交流拠点「Global Gateway」というコンセプトのもと、国際交流・ビジネス・文化・生活機能を備えた新しいまちづくりが進められています。



▲TAKANAWA GATEWAY CITY全景(完成予想図)。ゆったりとした配置が特徴

100年先を見据えたまちづくり

まちづくりの中核となるTAKANAWA GATEWAY CITYは5つの棟と広場、イベント空間で構成され、全体的に余裕のある配置になっています。ヒートアイランド現象の緩和や温暖化対策の一環として、都市空間の中で「風の道」の確保に配慮したまちづくりを進めており、東京湾からの海風(冷涼な風)を都市内部に導き、まち全体の通風や換気を促進するほか、水素利活用などによるゼロカーボンの実施、生活者や地域のBCP(事業継続計画)への対策など、100年先を見据えてのサステナビリティに取り組んでいます。

TAKANAWA GATEWAY CITY, the core of urban development, consists of five buildings, plazas, and event spaces, all arranged spaciouly. As part of measures to mitigate the heat island effect and address global warming, the city has been designed with "wind corridors" to guide the cool sea breeze from Tokyo Bay into the urban area, promoting ventilation throughout the district. In addition, the city is



◀発掘された「高輪築堤」。一部が保存され、今後一般公開
Excavated "Takanawa Embankment." Part of it will be preserved and opened to the public in the future.

working toward long-term sustainability over the next 100 years through initiatives such as achieving zero carbon through hydrogen utilization and establishing measures to support the BCP (Business Continuity Plan) of residents and the local community.

見どころがたくさんある中で、特に紹介したいポイントをお伝えします!

●自動走行モビリティ

高輪ゲートウェイ駅の改札を出てすぐの広場でゆっくりと自動走行しているモビリティが「iino」です。無料で楽しむことができ、自分で運転する必要がなく、乗り降りも自由!

乗っている間は、街並み・景色を楽しむことができます。ぜひ体験してみてください。

Right outside the ticket gates of TAKANAWA GATEWAY Station, you will find "iino," an autonomous mobility vehicle moving slowly through the plaza. You can enjoy it for free, there is no need to drive yourself, and you can get on and off as you wish! While riding, you can enjoy the cityscape and surrounding scenery. We invite you to give it a try.



▲取材班も「iino」に乗りました。ちょっと楽しい気分になりました
Our editorial team rode "iino." It put us in a cheerful mood.



◀TAKANAWA GATEWAY CITY内のGateway Park大階段付近と高輪リンクライン内に設置された仮囲い
TAKANAWA LINK SCAPE installed near the Gateway Park grand staircase within TAKANAWA GATEWAY CITY and along the Takanawa Link Line.



▲発掘された築堤を使ったり、線路をイメージさせるデザインも
Designs inspired by the excavated embankment and railway tracks.

●TAKANAWA LINK SCAPE (高輪リンクスケープ)

AR技術(拡張現実)を使って、今から約150年前、日本初の鉄道が開業した際に蒸気機関車が「高輪築堤」を走った景色をスマートフォンで視覚的に体験できます。操作は簡単。仮囲いの二次元コードをカメラで読み取るだけで、海や築堤、機関車が迫ってくる様子を臨場感いっぱい楽しめます。また、仮囲いには150年前の様子から現在の鉄道、そして未来のモビリティなどが描かれており、時代の変遷を学ぶことができます。

Using AR (Augmented Reality) technology, you can visually experience on your smartphone the scenery from about 150 years ago, when Japan's first railway opened and steam locomotives ran along the "Takanawa Embankment." Operation is simple—just scan the QR code on the temporary enclosure with your camera, and you can fully enjoy the immersive experience of the sea, the embankment, and the locomotive approaching. The enclosure also displays illustrations depicting the era from 150 years ago to the present railway system and even future mobility, allowing you to learn about changes over time.

●NEWoMan TAKANAWA LUFTBAUM (ニューマン高輪 ルフトバウム)

THE LINKPILLAR 1 NORTH棟の28階・29階にあるLUFTBAUM(飲食・ラウンジエリア)は、500本以上の本物の植物(木・草花)が各所に植えられた地上約150mの都心の別荘となっています。一般に開放された空中庭園もあり、レインボーブリッジや富士山を望むことができます。

フロア全体は、別荘地のような緑、眺望、音響、飲食が織りなす五感体験空間としてデザインされ、「緑と景色の空間」を楽しむことができます。

Located on the 28th and 29th floors of THE LINKPILLAR 1 NORTH building, LUFTBAUM (a dining and lounge area) is an urban retreat about 150 meters above ground, with more than 500 real plants (trees and flowers) planted throughout the space. It also features a public sky garden with views of the Rainbow Bridge and Mt. Fuji. The entire floor is designed as a multisensory experience reminiscent of a private villa, combining greenery, scenery, acoustics, and dining—a space where you can enjoy greenery and views through all five senses.

▶屋内空間とは思えない「月白の庵」
"Geppaku no Iori," an indoor space that feels surprisingly like the outdoors.



◀眺望も楽しめる「翠の庭」
"Midori no Niwa," a garden space where you can also enjoy views.

●MoN Takanawa: The Museum of Narratives

(モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ)

新たにMoN Takanawa: The Museum of Narratives(複合文化施設)が令和8(2026)年3月28日(土)に開館予定となっています。展示、体験スペース、イベントホールなどを備え、伝統文化や漫画、音楽、デジタルなどの分野横断型ミュージアムです。そして、まちの文化・活動のシンボルとしてデザインされた建物は非常に特徴的です。

A new museum complex, MoN Takanawa: The Museum of Narratives, is scheduled to open on Saturday, March 28, 2026. Equipped with exhibition areas, hands-on experience zones, and an event hall, it is a cross-disciplinary museum covering traditional culture, comics, music, digital content, and more. The building itself, designed as a symbol of the city's culture and activities, is highly distinctive.



まだまだ紹介しきれないのですが、取材班も、見どころがたくさんありすぎて、「どこを紹介するか迷ってしまうね」と声が上がっていたぐらいでした。本号ではその中の一部の紹介となります。今回紹介できなかった魅力あるエリアもたくさんありますので、訪れたことがない方は、ぜひ一度足を運んでみてください。きっと「ここは楽しくゆっくりできて落ち着く最高のロケーションだね!」と満足いただけるはずです。

There is still much more to introduce—our editorial team found so many highlights that they said, "It's hard to choose what to feature." This issue introduces only a portion of them. There are many more attractive areas we could not cover this time, so if you haven't visited yet, please do stop by. You will surely find yourself saying, "This is an amazing location—fun, relaxing, and wonderfully peaceful!"

Information

- 港区高輪2-21他(高輪ゲートウェイ駅直結)
ニューマン高輪 11:00~20:00(店舗により異なる)
ルフトバウム(28階・29階) 8:00~24:00

<https://www.takanawagateway-city.com/>



詳しくはこちら



大人向け SKDs未来の担い手 育成プロジェクト講座(レポート)

「SKDs未来の担い手育成プロジェクト」は、若年層を対象に、地域活動や地域コミュニティに関する意識を高め、芝浦港南地区の魅力などを学ぶ、港区主催のプロジェクトです。

令和7年度は、バンダイナムコホールディングスとの地方創生に関する講座と落語鑑賞を行いました。

講座参加者によるレポートをお届けします！

バンダイナムコホールディングスとの 地方創生に関する講座

令和7(2025)年11月27日(木)にリーブラホールにて、バンダイナムコホールディングスとの地方創生に関する講座を行いました。バンダイナムコホールディングスで取り組んでいるサステナビリティに関するお話のほか、港区との今後の連携について芝浦工業大学の学生が提案を行うなど、多様な主体との連携ができました。



▶バンダイナムコホールディングスからのお話

落語鑑賞

令和7(2025)年12月18日(木)に、港区立伝統文化交流館にて落語鑑賞を行いました。柳家風柳師匠をお招きし、日本の古典芸能である落語を体験しました。江戸落語と上方落語についての違いなど、落語についてのフリートークを行った後に、江戸落語と上方落語と創作落語、地元芝浦を舞台にした「芝浜」を演じていただきました。その後の参加者からの質疑応答も盛り上がりしました。



▶参加者の皆さん



▲柳家風柳師匠

REPORT① N.T.さん

「アイドルマスター ミリオンライブのキャラクター数」と「芝浦港南地区に架かる橋の数」の一致(ともに39)に着目した企画は、学生ならではの鋭い発想で非常に印象的でした。

地域資産と人気IP(※)を結びつけることで、多くの人が芝浦港南地区を訪れるきっかけをつくり、地域の活性化を実現するとともに、地域の魅力を知っていただくことで、再訪につながる好循環が生まれることを期待します。

バンダイナムコ担当者との真剣な質疑応答も、企画の実現性や地域貢献への熱意が伝わり、地域住民として大いに期待が膨らみました。今後、区とバンダイナムコの協力を得て、具体化が進むことを楽しみにしています。

※IP(Intellectual Property: 知的財産)



◀芝浦工業大学の学生からの提案



▶参加者の皆さん

REPORT② S.R.さん

芝浦港南地区でマンホールの蓋になるキャラクターが思いつかない中で、バンダイナムコホールディングスの知的財産による地方創生の説明を伺い、芝浦工業大学の学生からバンダイナムコホールディングスの知的財産を活用した地方創生の提案を傾聴しました。

芝浦港南地区の橋の数は39橋で、アイドルマスターミリオンライブ『39(サンキュー)プロジェクト』の所属アイドル数39名と数が同じ。橋ごとにアイドルを担当させ、スマホのGPSを利用したスタンプラリー「39橋ぶらり散歩」は、コアなファンだからこそその提案と感心させられました。

住民では気付かない多様な意見が地方創生では必要と実感しました。

REPORT③ Y.K.さん

「なんと、これらの案はすぐ実施できるものばかりでは?」芝浦工業大学の学生皆さんの、バンダイナムコホールディングスへの提案は、そのようなレベルの高いものばかりでした。

バンダイナムコホールディングスは、いろいろな地域とコラボレーションしています。池袋のナンジャタウンでもこの時期、「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーションを行っています。

サイレントディスコ、芝浦港南地区の橋でアイドルとのコミュができる、まち歩きスタンプラリーとパックマンのコラボなど、コラボレーションできそうなものばかりでしたので、どれか実現できるものがあればいいなと思いました。

REPORT① H.O.さん

緒をほどこき、するりと羽織を脱いで背中であたまを。見どころの所作のひとつです。枕であたまを客席を、「芝浜」の世界にいざないます。

知っている、この斬。「ダメな亭主とできた女房」の斬。腕はいいのに、なまけ癖のついた亭主を改心させました。

マンションやビルの立ち並ぶ芝浦界隈に、突如現れる木造2階建ての建物。こりゃ、なんだい。テーマパークかい。取り壊しの危機を免れて、芝浦一丁目にたたずむ港区立伝統文化交流館は玉手箱。人情味あふれる斬に、ほっこりと温かい心持ちになります。

そう、斬の舞台「芝浜」はこの近くといわれています。

REPORT② K.T.さん

落語「芝浜」を聞いたのは、今回で2度目となります。

去年のつる子師匠の「芝浜」とは違った視線での落語でした。柳家風柳師匠の「芝浜」の主人公は魚屋の主人でしたが、女房が賢く、スマートに描かれ、のめり込んで聞き入ってしまいました。

本当に、同じ落語でも斬家(はなしか)によっていろいろな表現ができるものなのだと思います。質疑応答の時間には、江戸落語と上方落語の両方を自在に操る師匠のこれまでの経緯、大阪弁と江戸弁が同じ語数で話せること、古典落語と新作落語の違い、耳で聞いて覚える修行など、ここでしか聞けない話が盛りだくさんで、貴重で有意義な時間を過ごすことができました。

REPORT③ K.T.さん

新作のうちのひとつは、気の短い関西人と気の長い江戸っ子の会話の妙の滑稽話で、大阪育ちの師匠ならではの質問に、もともとお笑い志望で上京したが、勉強のための寄席通いで江戸落語に魅了されたためとのことでした。

入門当初は江戸の人物像がつかめず、いったん全部関西弁に直してから再び江戸弁にして覚えたそうで、今では東京の言葉は苦手ながらも江戸弁調では流ちょうに話せるそうです。

「映画1本観た満足感の得られる新作を作りたい」との意欲表明に、今後の師匠ならではの新作に期待したいです。

REPORT④ N.N.さん

東西二刀流で関西出身の師匠は、初めは落語江戸言葉に苦労したそうです。

私は江戸時代から江戸の家なのでなじみがありますが、上方仕込みのリズムが江戸の粋な軽妙さに昇華され、師匠独特の江戸人情斬となり、冬のカラリとした空気感が見事でした。財布を拾う場面では、丁寧なオノマトペで状態まで鮮やかに浮かびました。

私にとって6人目となる「芝浜」ですが、随所に「落語の完成形」の奥深さを感じる新発見がありました。「どこにでもいる等身大の江戸っ子」が主役の斬が心地良かったです。師匠の語る「何度でも聞きたくなる落語」を体現する素晴らしい一席でした。



江戸の防衛拠点から地域の防災拠点へ

台場地域は、平成8(1996)年にまちができてから、30周年を迎えました。今回のべいあっぷでは、防災をテーマとして歴史を振り返る特集を組みました。昔と今、まちができて30周年という節目に、まちの歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか？

●台場の成立

「台場」という地名は、江戸時代末期のペリー来航(黒船来航)をきっかけに、江戸防衛のために築かれた砲台(台場)が由来です。東京湾岸に複数の台場が設置され、海からの侵入を防ぐための重要な軍事拠点でした。これらの台場は、江戸城を守るための最前線として機能し、砲台や兵舎などが整備されていました。



品川台場(第六台場) (港区立郷土歴史館所蔵)



描かれた第五台場 (港区立郷土歴史館所蔵)

●防災拠点整備

現在のお台場地区は、東京港の海底を浚渫し水路を掘削することによって発生した浚渫土砂で、第三台場とつながる形で埋立が進み、都市開発が進められた結果、平成8(1996)年までに現在のまちが概成しました。また、地域防災の中心的役割を担う場所へと変化し、防災拠点として避難所や備蓄倉庫などの整備も行われました。例えば、避難所となる港区立小中一貫教育校お台場学園や台場区民センターには「備蓄倉庫」が配備され、区立お台場レインボー公園には非常時にかまどとして利用できる「かまどベンチ」が設置されています。避難所運営や防災訓練も定期的に行われています。



台場区民センターの備蓄倉庫



区立お台場レインボー公園のかまどベンチ

●地域連携と防災活動

地域では、お台場地区防災協議会や台場駅周辺滞留者対策推進協議会が定期的に開催され、住民・事業者・区が連携して防災体制が強化されています。

防災協議会では、避難所運営訓練や防災啓発ワーキングセミナー、避難所運営マニュアルの作成、災害時の情報連絡体制の強化など、住民の安全を守るための仕組みが整備され、地域防災の向上が図られています。また、区立お台場レインボー公園に設置されている「スマートポール」を活用し、災害時の情報共有や避難誘導の効率化も進められています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
台場は、江戸防衛の砲台として始まりました。現在は、地域の安全を守るための防災活動の中心地として、住民・事業者・区が一体となって取組を進めています。



区立お台場レインボー公園のスマートポール。公衆無線LANに加え、デジタルサイネージや防災スピーカー、AEDなどの多様な機能を備えたもの



東京港(1955年ごろ)
写真提供：(一社) 東京都港湾振興協会



第3第6台場貯木場(1965年)
写真提供：(一社) 東京都港湾振興協会



臨海副都心(1991年ごろ)
写真提供：(一社) 東京都港湾振興協会



現在の砲台跡地 (港区立郷土歴史館所蔵地図に加筆)

東京都からのお知らせ

ODAIBAファウンテン(仮称)の名前が決定しました!

東京アクアシンフォニー

魅力的な演出により、国内外の多くの人々を引きつける臨海副都心の新たなランドマークが、お台場海浜公園水域内に誕生します!



夜

写真はイメージです



昼

Point!

- ◆高さ約150m、横幅約250m!世界最大級の噴水
- ◆音楽と光による約10分間の噴水ショーを1日10回開催
※荒天・メンテナンス時は休止
- ◆毎日 11:00~21:00
- ◆プロジェクトポータルサイト開設



▶問合せ 東京都港湾局 臨海開発部 開発企画課・誘致促進課 TEL: 03-5320-5566・5598

「東京アクアシンフォニー」へは、ぜひお台場レインボーバスをご利用ください!

港区からのお知らせ

お台場レインボーバスに乗ってみよう

品川駅・田町駅とお台場エリアを結ぶ「お台場レインボーバス」を活用してバラエティ豊かなお台場の魅力に触れる旅へと出かけてみませんか。



- 運賃 大人(中学生以上) 220円/小人(小学生) 110円
- 支払方法 現金、交通系IC、クレジットカードなどのタッチ決済
POP UP 令和7(2025)年10月から交通系ICカード決済ができるようになりました!
- お得情報・ご利用にあたって お台場レインボーバスでは、以下のような割引や制度があります。

未就学児無料
未就学児(小学生未満)は無料で乗車できます。

「ちいばす」「お台場レインボーバス」共通1日乗車券
土・日曜、祝日や年末年始等に利用できる乗車券をRYDE PASSアプリで販売(500円)しています。

利用時のお願い
座席は全席優先席です。高齢者、障害のある人、妊娠中の人等には席をお譲りください。

▶問合せ 港区街づくり支援部 地域交通課 地域交通係
TEL: 03-3578-2278

港区コミュニティバス乗車券
ちいばす・お台場レインボーバスに無料で乗車できる券です。区内在住の高齢者や障害のある人、妊産婦等にお渡ししています。
乗車券の交付

「お台場レインボーバス」の乗り方
全車両ノンステップバスで運行していますので、ベビーカーや車椅子を利用する人も安全に乗車できます。
乗り方案内動画
※ちいばす、お台場レインボーバス共通

バスロケーションシステム
バスの現在の位置情報等が分かる便利なアプリを配信しています。
ちいばすナビアプリ
見えバス(お台場レインボーバス)アプリ



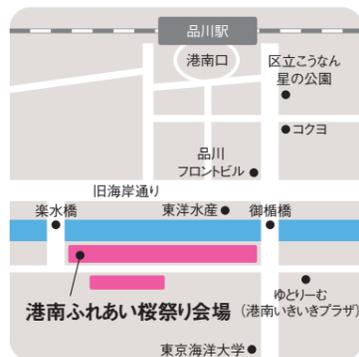
第12回港南ふれあい桜祭り

桜の季節、港南地域をあげて、「第12回港南ふれあい桜祭り」を開催します。ご来場をお待ちしています。

- 開催日時 令和8(2026)年3月29日(日)
11:00~16:00
- 開催場所 高浜運河東岸(御橋橋~楽水橋までの一帯)
- 内容 満開の桜を楽しむ「お花見会」、「地域有志によるステージイベント」、「模擬店」、「物販店」、「防災コーナー」、「フリーマーケット」、「運河めぐり」ほか
- 主催 シティハイツ港南自治会、バイクレストラン自治会



フリーマーケット
参加者申込用コード



▶問合せ 港南ふれあい桜まつり実行委員会
TEL: 070-5064-8090

フリーマーケット参加者募集

- 締切 令和8(2026)年3月20日(金・祝)
- 申込方法 上記の二次元コードから申込フォームにアクセスしてください。
※ゆとりむ(港南いきいきプラザ)での事前受付は行いません。
※当日受付&出店も可能です(先着順)。当日10:00に受付開始予定です。
- 出店料 1ブース500円

第20回水辺フェスタ開催!!

第20回水辺フェスタを、令和8(2026)年9月13日(日)に開催します。

恒例のボートレースのほか、当日飛び入り参加可能な様々なイベントを実施予定です。

小さなお子さまも楽しめるアトラクションもありますので、老若男女みんなで楽しめるイベントです。

ご来場をお待ちしています。

- 開催日時 令和8(2026)年9月13日(日)
11:00~16:00
- 開催場所 都立お台場海浜公園(台場1-4)
- 注意事項 小雨決行(荒天の場合は中止)



第19回水辺フェスタの様子

※ボートレース出場の申込は、令和8(2026)年6月上旬~中旬頃を予定しています。

▶問合せ 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 TEL: 03-6400-0013

港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト メンバー募集

芝浦港南地区総合支所では、地域の魅力アップのための活動、地区情報誌の発行など、地域の皆さまと区が共に考え、行動する組織「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」を設置しています。令和8(2026)年度のメンバーを募集します。一緒に活動してみませんか。

水辺のまち歩き
プロデュース分科会



みどりでつなぐ
プロジェクト分科会



べいあっぷ編集部



- 対象 芝浦港南地区(芝浦、海岸2・3丁目、港南、台場)在住・在勤・在学者、または芝浦港南地区のために活動したい人
- 活動期間 令和8(2026)年4月から令和9(2027)年3月まで
- 申込方法 住所、氏名、年代、勤務先(学校名)、電話番号、メールアドレス、希望する分科会を明記の上、郵送またはFAXで申込先へ。港区ホームページの応募フォームからも申込ができます。
- 申込期限 令和8(2026)年3月16日(月)
- その他
 - ・交通費・報酬の支払はありません。
 - ・会議の際、保育を希望する人はご相談ください。
 - ・応募者多数の場合は、初めての人を優先し、年齢などのバランスを考慮して抽選します。
 - ・各参画組織の進行および資料は日本語になります。
 - ・令和8(2026)年4月16日(木)18:30から「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト 総会」を行う予定です。



応募フォーム



▶申込先 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
〒105-8516 港区芝浦1-16-1 TEL: 03-6400-0013 FAX: 03-5445-4590

編集委員が選んだ

おすすめグルメスポット

[VOL.5]

港区の商店街に加入している飲食店の中から、編集委員が選んだお店をご紹介します。

田町駅から徒歩約8分、喧噪から少し離れた運河沿いにたたずむイタリアンレストラン ABBRACCIO。
近隣のお勤めの方にも、ジモティにも愛されているお店をご紹介します。

運河沿いのイタリアン ABBRACCIO (アブラッチョ)



スタッフ一同、お待ちしております♪

入口がTHE HARBOUR SHIBAURA ビル1階の運河へ抜ける通路にあるので、ちょっと隠れ家チックな雰囲気があります。ここかな?とガラス越しに中をのぞくと、スタッフが笑顔で出迎えてくれます。ABBRACCIOはイタリア語で「Hug(ハグ)」の意味。料理ももてなしも心地よさを感じさせてくれるお店です。

料理は、ベネット(ベネチア風イタリアン)をベースに、季節の食材を生かしたものが中心。ランチのお手頃なパスタコースから、夜は多く取りそろえられたワインとの調和を楽しむことができる趣向を凝らしたアラカルトやコースが選べます。カルパッチョをはじめ、産直の新鮮な魚料理や人気のラザニア、手打ちパスタもあり、お客さまの要望に応じてリゾットも始めました。春はホテルイカがおすすめとのこと。パスタやお好みのアレンジでいただけます。食後のデザートもお忘れなく。幸せな気分させてくれること間違いなしです。

お店の1階は、開放的なオープンキッチン。窓ガラスを通して入る運河からの陽射しも心地よく、つい長居をしてしまいそうです。少人数からお子さま連れの家族、仕事帰りの仲間と、大人数のパーティまで、幅広く利用できます。

そして、ワンちゃん連れOKという懐の深さ! 運河側のテラス席と道路側の1部屋はワンちゃんと一緒に食事ができます。さらに今年から2階は、豊富な種類のワインが楽しめる“大人の空間”となりました。静かな落ち着いた雰囲気は、親しい友人やビジネスの会食、記念日などにぴったりです。

令和8(2026)年3月で創業9周年。シェフのお話からは、お客さまの声に耳を傾け、常に進化を心がけている熱意が伝わってきました。暖かくなってくると運河側のガラス扉が全開となり、気持ちいい風が通り抜けます。運河を眺めながら、ワインとおいしい食事をいただくのは格別。テラス席を楽しむ季節が待ち遠しいです。



ランチは旬の食材を取り入れたパスタセットとコースメニューがあります



運河沿いの緑道からも入店できます。2階にもテラス席があります♪



運河に面した明るい1階の店内



港区芝浦4-5-9
THE HARBOUR SHIBAURA 1階
☎050-5461-5671
営業時間 ランチ[日・火~土・祝・祝前]
11:30~15:00、ディナー[火~金・祝前]
18:00~23:00[日・土・祝] 17:30~23:00
定休日 毎週月曜日/隔週日曜日



港区ベイエリア イベントカレンダー

令和8(2026)年3月~7月

※日時や内容が変更になることがありますので、必ず各施設の最新情報を確認してください。

乳幼児から楽しめる!

にじのはし幼稚園

TEL: 03-5500-2577



●にじっこキッズ(未就園児の会)

日時: 毎週水曜日に開催予定
※詳しくはホームページをご確認ください。
※令和8年度は5月12日(火)からの開催です。
場所: にじのはし幼稚園



にじっこキッズのほかに、平日に絵本貸出を行っています。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご確認ください。

乳幼児から楽しめる!

港南幼稚園

TEL: 03-3471-7347



●未就園児の会 かもめっこデー

日時: 毎週水曜日 10:30~12:00
場所: 港南幼稚園 2階多目的室・園庭



4月下旬から開始予定です。園庭開放も行っています。日程など、ホームページをご確認ください。

乳幼児から楽しめる!

芝浦幼稚園

TEL: 03-3452-0574



●園庭・たんけん広場開放

日時: 平日 月曜日から金曜日 9:30~15:30
場所: 芝浦幼稚園 園庭・たんけん広場



●地域の乳幼児親子対象 りんごちゃんくらぶ

日時: 水曜日 9:30~11:00
場所: 芝浦幼稚園 保育室、ホール、園庭など

詳しくは園までお問い合わせください。

年記の方にオススメ!

芝浦港南地区高齢者相談センター

TEL: 03-3450-5905



●かいごカフェ

日時: 3/13(金) 14:00~15:15
場所: さんぽーと港南(港南区民協働スペース)



●台場地域出張相談会&台場deオレンジカフェ

日時: 3/24(火) 10:30~11:30
場所: 台場ふれあい団らん室

都税のお知らせ



4月から固定資産税における土地・家屋の価格などがご覧になれます(23区内)

- 対象 令和8(2026)年1月1日現在、23区内に土地・家屋を所有する納税者
- 内容 所有資産が所在する区で課税されている土地・家屋の価格など(縦覧帳簿)
- 期間 4月1日(水)から6月30日(火)まで(土・日・休日を除く)
- 時間 8:30~17:00
- 場所 土地・家屋が所在する区にある都税事務所

納税通知書は6月1日(月)に発送予定です。詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。

▶問合せ 港区にある物件について
港都税事務所 TEL: 03-5549-3800 (代表)



引っ越しをしたときは、自動車の変更登録の手続が必要です

引っ越しをしたときは、管轄の運輸支局または自動車検査登録事務所自動車の変更登録の手続が必要です。手続が遅れますと、自動車税種別割の納税通知書が届かないなどのトラブルの原因となります。

やむを得ず手続が遅れる場合は、電子申請や電話などにより、納税通知書の新しい送付先住所をお知らせください。

▶問合せ 東京都自動車税コールセンター TEL: 03-3525-4066

災害などにより甚大な被害を受けた方に対して都税を減免する制度があります

災害などにより甚大な被害を受けた方に対して、一度課税された税金のうち、納期限前のものを被災の程度などによって減免(軽減または免除)する制度があります(納税を猶予する制度もあります)。対象は、固定資産税・都市計画税(23区内)、不動産取得税、個人事業税などです。原則として、納期限(不動産取得税を除く)までに、納税者ご本人からの申請が必要です。被災の事実を証明する書類を添えて、都税事務所へ申請してください。

▶問合せ 港都税事務所 TEL: 03-5549-3800(代表)

にせ都税メール・電話にご注意ください!

都税事務所の職員を装って、個人情報などを不正に取得したり、金銭をだまし取ろうとする事例が発生しています。不審に感じた場合は即答せずに、下記問合せ先までご連絡ください。また、万が一被害にあわれた場合は、すぐに警察にご連絡ください。

▶問合せ 総務部総務課相談広報班 TEL: 03-5388-2925